

おだがいさま

odagaisama

第 39 号
平成 24 年
3 月 15 日発行

あいや～おもしろえの↑ 朝日お茶のみサロン

平成23年度赤い羽根共同募金実績報告(P2)
学区社会福祉協議会地域づくり実践中(P3)
情報掲示板(P4)

朝日お茶のみサロンは、おしゃべりや軽スポーツ、健康講話などそれぞれに楽しい時間を過ごしています。

名川集落では童謡をモチーフにしたカルタ遊びをしました。「どぞさあるや～?」「それ違う～」と、カルタを探しながら懐かしい歌をみんなで口ずさみ、笑い声と元気な話し声があふれました。



平成23年度共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)



ご協力ありがとうございました

昨年10月1日から「じぶんの町を良くするしくみ。」をスローガンに実施いたしました共同募金運動(赤い羽根・歳末たすけあい)に、市民の皆様をはじめ、事業所、団体、職場、学校など、多くの方々より心あたたまご協力をいただきありがとうございました。

今年度、皆様よりお寄せいただきました募金実績と使いみちについてお知らせいたします。

赤い羽根募金

募金実績額 13,663,868円



☆募金の使いみち☆

地域福祉の推進のために、来年度の地域福祉活動などに活用させていただきます。

- 民間社会福祉施設の施設整備、福祉車両整備
- NPO法人、ボランティア団体等の地域福祉活動
- 障がい者小規模作業所、学童保育所への支援
- 保育園の世代間交流

※今年度、市内の約40施設・団体から配分申請をいただいており、来年度に上記事業に活用される予定です。

○市社会福祉協議会の地域福祉活動

※市社会福祉協議会では、お茶のみサロン、配食サービス、子育てサポート事業、ボランティア活動、福祉学習などの地域福祉活動に活用していきます。



＜街頭募金活動＞
鶴岡東高等学校の生徒の皆さん

歳末たすけあい募金

募金実績額 9,112,456円



☆募金の使いみち☆

「歳末たすけあい募金配分委員会」にて検討を行い、新たな年を安心して迎えることができるように、昨年12月中に市内の支援を必要としている方々などに民生児童委員を通して義援金をお届けしました。また、地域福祉の推進のために、来年度の地域福祉活動に活用させていただきます。

- 経済的に支援を必要とする世帯へ 764世帯
- 児童養護施設の入所児童・生徒へ 17人
- 市社会福祉協議会の地域福祉活動



＜募金箱の受取り＞
櫛引南小学校の児童の皆さん



～じぶんの町を良くするしくみ。～

「誰もが安心して暮らせる福祉でまちづくりを目指して」 ～第五学区社会福祉協議会～

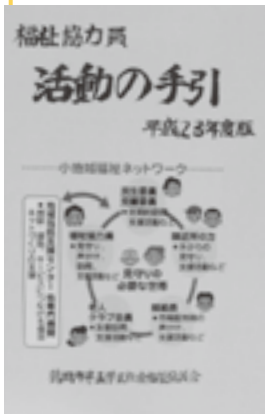
身近な見守りが期待されている福祉協力員の疑問・質問に分かりやすく答えた「福祉協力員活動の手引き」を作成しました。民生児童委員や町内会等との連携づくりにも活用できるものとなっています。

★活動者を支える取り組み

「地域福祉活動」といっても、具体的な活動が見えない、どのように活動を進めていったらいいのかといった声があり、十町内会の活動をまとめた「地域福祉活動事例集」を作成し、住民の方に具体的な活動事例として紹介することができました。

★活動を知ってもらう取り組み

第五学区社会福祉協議会は、地域のみんなで福祉のまちづくりを進めようと平成十九年度に「鶴岡市第五学区地域福祉活動計画」を策定しました。「誰もが安心して暮らせる福祉でまちづくりを目指して」を基本理念に進められてきた五ヶ年計画（計画期間平成二十年～平成二十四年）は、来年度、最終年度を迎えます。計画期間中、取り組まれてきたさまざまな活動の一部をご紹介します。



▲福祉協力員活動の手引

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に向かって、地域が連携し、お互いに助け合える関係や仕組みづくりをすすめていくことが求められています。来年度は、「まちづくりカルタ」の作成が企画されています。



▲要支援者（防災福祉）マップ

★防災マップで地域の連携づくり

六町内会で防災マップづくりを行いました。地域の方々と災害時の状況をイメージし、マップづくりの作業を行うことで、地域の連帯感を深めることができました。今後も、内容の見直しや情報更新などを行っていく予定です。

「認知症にやさしい地域づくり」 ～第六学区社会福祉協議会～

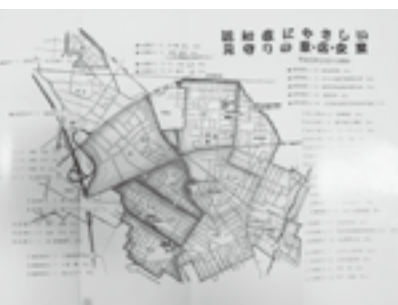
福祉施設や関係機関等と連携を図りながら、新規協力者の拡大を図っています。今年度は、福祉施設や関係機関等と連携を図りながら、新規協力者の拡大を図っています。

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に向かって、地域が連携し、お互いに助け合える関係や仕組みづくりをすすめていくことが求められています。来年度は、「まちづくりカルタ」の作成が企画されています。

第六学区社会福祉協議会（以下、第六学区社協）では、自分自身やご家族が「認知症かもしれない。認知症になったらどうしよう。」と不安になることなく、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「認知症にやさしい地域づくり」を進めています。その取り組みの一部をご紹介します。



▲認知症支援地域マップ



▲認知症にやさしい見守りの家・店・企業

このように、第六学区社協では、認知症をテーマにしながら、福祉のまちづくりを進めています。

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）の養成講座を、市地域包括支援センター等の協力のもと、町内会やサロンなどで開催しています。これまで、約二百名の方が受講しており、今後はより多くの住民の皆さんから受講してもらう予定です。さらに、町内会だけでなく、小中学校や企業などにも声かけし、幅広い年代からの参加も検討しています。また、サポーターの拡大を図るとともに、サポーターをより活かせる取り組みや養成後のフォローアップ（スキルアップ）研修、視察研修なども計画しています。

★認知症サポーターの普及、啓発活動

（※注1）高齢化により増加する認知症高齢者対策の一環として、認知症になっても安心して住み慣れた地域で生活が送れるよう住民同士で支え合える仕組みや環境づくりを推進する事業。

i 情報掲示板

鶴岡福祉バス抽選会(平成24年7月~平成25年3月分) 事前申請受付のお知らせ

鶴岡地区福祉バス 抽選会のための事前申請を次の日程で行います。

- 対象期間** 期間ごと2回に分けて抽選を行い、1団体1回の予約ができます。
 - ①平成24年7月1日~平成24年10月31日分
 - ②平成24年11月1日~平成25年3月31日分
 ※11~3月の冬期間は土日運休、運行区域は庄内地域になります
 ※予約申請書の備考欄に必ず希望月を記入してご提出をお願いします
- 利用対象** 旧鶴岡市域に住所を有する個人または団体
- 申請期間** 5月7日(月)~5月18日(金)まで
- 申込み/問合せ** 申請書は鶴岡福祉センター
 (にこ♥ふる2階)に準備しております。
 ☎24-0053

平成24年度「ふれあい福祉相談」のご案内

各福祉センターでは、職員による、失業や病気などで一時的に生活の維持が困難となった世帯に対しての貸付に関する相談や、認知症高齢者、障がい者の日常的な金銭管理(福祉サービス利用援助事業)に関する相談などに応じています。

また、相続、扶養、多重債務等専門的な助言が必要な相談については、毎月無料の巡回弁護士相談(要予約)を下記のとおり各福祉センターで実施する予定です。

●**常設相談** 日 時:月~金曜日(祝祭日を除く)8:30~17:15
 場 所:各福祉センター(連絡先はこのページ下段)

●巡回弁護士相談(無料・要予約)

4月18日(水)朝日福祉センター	10月17日(水)鶴岡福祉センター
5月16日(水)鶴引福祉センター	10月24日(水)朝日福祉センター
6月13日(水)鶴岡福祉センター	11月14日(水)鶴引福祉センター
7月11日(水)藤島福祉センター	12月12日(水)鶴岡福祉センター
7月18日(水)羽黒福祉センター	1月16日(水)藤島福祉センター
8月15日(水)鶴岡福祉センター	2月13日(水)羽黒福祉センター
9月12日(水)温海福祉センター	3月13日(水)鶴岡福祉センター

※予約は実施予定日の1か月前から受け付けます
 ※日時・会場変更の場合は別途広報「つるおか」でお知らせします

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
 (平成23年12月21日から平成24年2月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

- ・真如苑 様 200,000円
- ・日本基督教団 鶴岡教会イヴの集い 様 3,000円
- ・由良GGクラブ 様 10,000円

◎羽黒福祉センター

- ・匿名 23,000円、デジタル一眼レフカメラ一式
- ・三山大愛教会 神林千祥 様 300,000円
- ・田川民話の会羽黒支部 様 5,000円
- ・鶴岡市立羽黒第二小学校 様 賞状盆1個

◎鶴引福祉センター

- ・菅原 友 様 チャイルドシート1台、踏み台1台

◎温海福祉センター

- ・クアボリス温海しゃりん 様 30,000円

- ・鈴木 重三郎 様 100,000円
- ・鞆萬国屋 様 100,000円
- ・本間 作之 様 30,000円

★鶴岡市ボランティアセンターへ

- ・日本基督教団 鶴岡教会 様 2,000円

★とようら老人デイサービスセンターへ

- ・伊藤 正一 様 10,000円

★老人デイサービスセンターふれあいへ

- ・齋藤 昭雄 様 20,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザへ

- ・スマイルサンタクロース 様 クリスマスケーキ

- ・柳産直あぐり 様 りんご3箱

★地域福祉センターなえづへ

- ・柳産直あぐり 様 りんご3箱

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・鶴岡市立大山小学校 様 12,000円

- ・佐藤 喜則 様 尿取りパッド、紙パンツ

★老人デイサービスセンターおおやまへ

- ・長谷川 浩一 様 甘酒30升

★鶴岡市大山児童館(放課後児童クラブ「はらっぱ」)へ

- ・放課後児童クラブ「はらっぱ」保護者会 様 II対応蒸し器、児童用遊具一式

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・五十嵐 金悟 様 シャワーチェア1脚
- ・佐藤 仁 様 ポータブル吸引器1台
- ・鈴木 重三郎 様 50,000円
- ・本間 辰蔵 様 タオル35枚、ハンドタオル34枚、手ぬぐい20枚

★あしなが東日本大地震・津波遺児募金へ(特別指定寄附)

- ・松岡窯陶芸教室 様 88,000円

◎ほっとコラム

「サロンを絆として」

東日本大震災以降、家族の繋がりが・地域の繋がりが改めて見直されてきました。

「繋がり」つまり「絆」の重要性をこの時を境にして、日本人は再認識しました。若者の結婚願望が高まったと聞くと嬉しいものです。

人として生を受けた以上、同じ時代を生きる一人の人間として、出来るだけ多くの方々と関わって、絆をつなげて有意義な人生を送れたら、どんなにか幸せなことでしょう。

そのためには、地域の中でのサロン開設は絆を深めるいいチャンスではないでしょうか。サロンで楽しいひとときを過ごす皆さんの姿を頼もしく感じる今日この頃です。

(T・T)

おだがいさま

第39号

平成24年3月15日発行

発行部数 49,300部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる2階)

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。